

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきいきっ子クラブ国東（放課後等デイサービス事業）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各関係機関等や地域との連携	子ども達が地域でより良い支援を受けられるように、学校や、福祉課等との連携は、常に行ない、会議以外にも情報交換等を行なうようにしている。	福祉と教育の現場が連携することで、子ども達が地域でより良い支援を受けられるようにしていく。会議の場合以外にも、常に連携を取っていく。場合によっては、医療機関とも連携を図り、情報交換を行っていく。
2	保護者への研修等の開催	これまで、ペアレント・プログラムの研修を行ってきたが、保護者向けへの研修や交流の場を提供できるようにしている。	これからは、保護者向けの研修のほかに、きょうだい児の交流の場の提供に向けて、きょうだい児への支援も考慮した会を設けていきたい。
3	それぞれの子どもにあった、活動プログラムの提供	保育、言語、身体等の多方面から、専門的なアセスメントを行なったうえで、それぞれの子どもに合わせた、活動プログラムの提供を実施し、振り返りを行なっている。より良い療育活動を提供できるように、常に見直しを図っている。	これまで実施してきたことではあるが、外部や第三者からのアドバイスをいただき、支援のふり返りを行いながら、さらにより良い支援を提供できるようにこれからも邁進していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部への発信力	ホームページなどを通じた発信力が弱い。子ども達の支援だけでなく、安全に関することも併せて、保護者や地域に発信していく必要がある。	定期的に発信できるように、年度初めに取り決めを行ない、利用者や保護者の方が安心して利用できるように計画をしていきたい。
2	チームでの計画書の立案	経験の浅い職員の見解の引き出すことが丁寧にできていない。チームでの計画書の立案を目指していく。	それぞれの専門家の意見も大事にし、それぞれの得意分野を生かして立案を進めていく。発達障がい理解・対応など、経験のある職員からの伝達を行なうことで、お互いがステップアップできるように、配慮していく。
3	長期休暇の生活空間の在り方	長期休暇になると、児童発達支援と放課後等デイサービスを一緒に受け入れることになり、日頃、それぞれの確保されていた生活空間のスペースが確保されず、ご利用時にとっては本来の自分を保てないことがある。	子ども達がそれぞれ有意義な時間を確保できるように、これまで以上に工夫、配慮する必要がある。スケジュールの事前の確認、安心・安全の確保など丁寧にしていきたい。